

長岡京市立中央公民館主催 市民企画講座 西村日出男企画



かしこい暮らしを目指す



かしこ暮らしっく

長岡京



長岡京市民大学

【お申込み・お問い合わせ】
長岡京市立中央公民館
TEL: 075-951-1278
FAX: 075-955-4774

「誰もが誰もの成長を願い、誰もがかしこい暮らしを」をモットーの『長岡京市民大学』です。
いろんなジャンルの内容を学習し、体験し、“生きいきセカンドライフ”を楽しみましょう。

第 50 講座

令和 5 年 6 月 22 日(木) 午後 2 時

テーマ

都会の放置竹林はグリーンコモンズ (向日市物集女町長野)

内 容

暮らしの変化により、放置された竹林に昔のように立ち入ることで、
新たな使命を与えませんか 放置竹林がグリーン・コモンズ (公共緑地)
となれば素敵ですね

多くの分断が原因ではない でしょうか 解決できるのは 人だと思えます
「竹林とまち」をつなぐプロジェクトを乙訓で始めませんか

藪の傍 代表 小関皆乎

【テーマ】 放置竹林問題の解決に決め手はあるでしょうか？

【結論】 多くの分断が原因ではないでしょうか？

- 【原因】**
1. 高齢化による後継者不足＋整備人材の高齢化
 2. 輸入品にその座を奪われ、価格対抗が出来ない
 3. 生活様式の変化への対応の遅れ
 4. 地権者や行政が煩雑で理解を得にくい
 5. 整備資金調達が困難
 6. ネットワークや発信不足

藪の傍 概要

【藪の傍 概要】

- 事務所 向日市寺戸町久々相13-2 JR向日町駅すぐ(東洋竹工内)
- 活動地 向日市物集女町長野 西ノ岡丘陵(物集女西浄水場の裏の竹林)
- 任意団体 2017年設立 理事6名 会費なし 会員なし
- 主活動 竹林整備による放置竹林の再生活用
カンボジア王国シエムリアップ州リエンポン村・ケオポラ村の循環型農業・人材育成支援
- 運営 国内 代表+竹担当理事の2名 常連参加者15名(登録者)
国外 代表+農業担当理事の2名 現地カウンターパートナー
- 活動資金 助成金+報奨金 収入=支出 個人負担なし
- 受賞歴 2021年 国交省「手づくり郷土賞」受賞
2022年 向日市市制施行50周年記念 ひまわり栄誉賞「自治の振興-地域力の向上」
公園財団「公園・夢プラン大賞2022」最優秀賞 授賞
- 協力団体 京都建築専門学校 同志社大学総合政策科学ソーシャルイノベーションコース
藪の竹ぼうき他市民団体 京都乙訓LC咲乙姫会 (株)京の舞妓さん本舗 東洋竹工(株)

2022年度

【次世代への継承活動】 京都府 学生×地域つながる未来プロジェクト
同志社大学 物集女竹林SDGs フィールドワーク&セミナー
立命館高校 国際交流SDGsフィールドワーク



【助成活動】

『近畿ろうきんNPOアワード』
『親子で楽しく遊んで～竹林イメージチェンジ～』
ノコギリを使い廃竹切り燃やして火に触れる活動 竹バーム焼き/タケノコ掘りイベント



【伝統文化や伝統技術の継承】

『近畿建設協会 地域づくり街づくり』
京都式タケノコの軟化栽培12ヶ



【向日市市制施行50周年市民提案事業】
『向日市市政施行50周年記念事業』
創作落語「向日市今昔物語・竹林」独演会in向日亭



【京都府男女共同参画】
『京都の竹林とDesign Workshop』全5回開催



【京都生協社会貢献基金】
『竹粉製造機PANDAの活用』

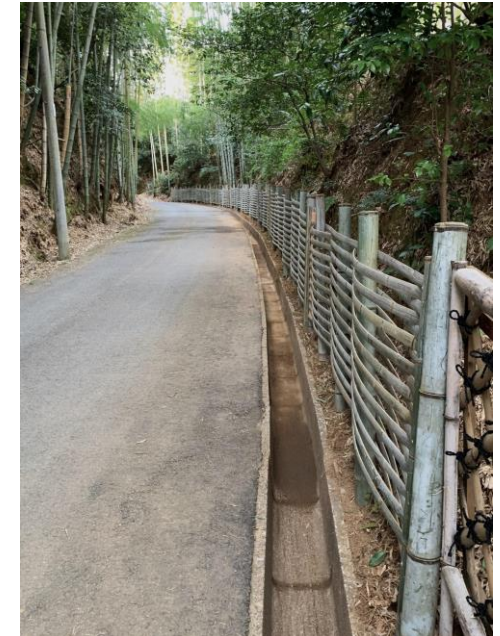


放置された6000坪の竹林の散乱した廃竹の整理整頓が急務

【2023年度は飛び地の放置竹林の整備に着手します】



【竹の径に倣え藪の径づくり】



【竹吊り屋根 交流スペースづくり】



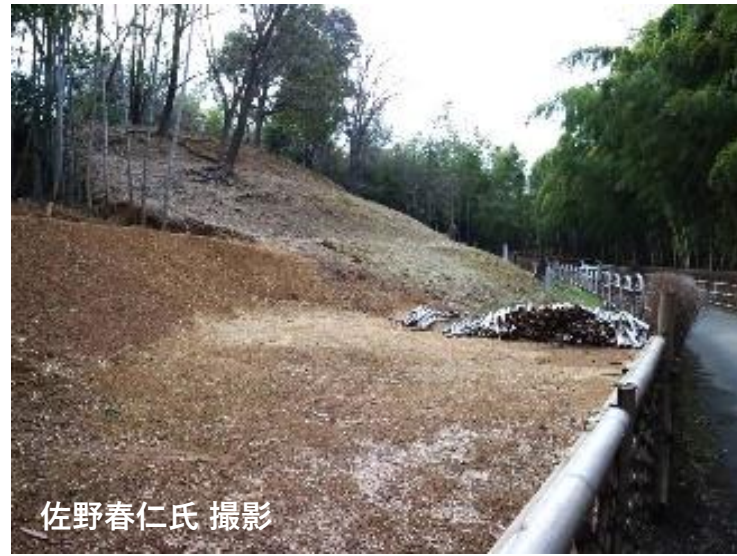
竹になる前に伐り食材(国産メンマ)として活用する一石二鳥の竹林整備

【2mに伸びたタケノコの収穫と塩蔵メンマづくり】



寺戸大塚古墳エリア 崩壊した竹林小屋復活による景観保全と地域活性化活動

【崩壊した寺戸大塚古墳・竹林小屋の再建】



「藪の傍」竹林は人が立ちることによって整備進行

【お茶会・野外クッキング・落語会・合気道・セミナー・英会話】など多目的使用



【幼時から高齢者まで年齢差は70歳超え】



2023年度の活動予定

『阪急阪神未来のゆめ・まち基金』 竹林道(市道1068号)清掃 竹林エリアの観光促進 カンボジア支援

『セブン-イレブン環境活助成』 竹林整備とタケノコの京都式軟化栽培の実践

『自然公園等保護基金(申請中)』 竹林と都会をつなげる プロタイプデザイン ワークショップ

『産直ドミノ基金』 収穫幼竹(伸びたタケノコ)の加工場設置

『社協・地域課題支え合い補助金』 無煙炭化器を使った竹バーム焼き 竹で公開ブランコづくり キャンプ

『草の根市民基金 草の根ぐらん』 カンボジアケオポラ中学支援 学校菜園の開設

『りそな環境助成』 カンボジアリエンポン小支援 雨季に水没する給食かまどの嵩上げ 特産品開

『生き生きシニア活動顕彰』 研修費など

【飛び地の放置竹林整備】



【500μ竹粉製造機の活用】 【竹ぼうき藪の径清掃イベント】 【乙訓竹林農業遺産登録準備】



<竹を知る会in向日市：セミナー開催>

「竹・竹林の価値」の創造と地域・社会の未来
～竹材から景観まで～

同志社大学SDGs研究プロジェクト 報告会

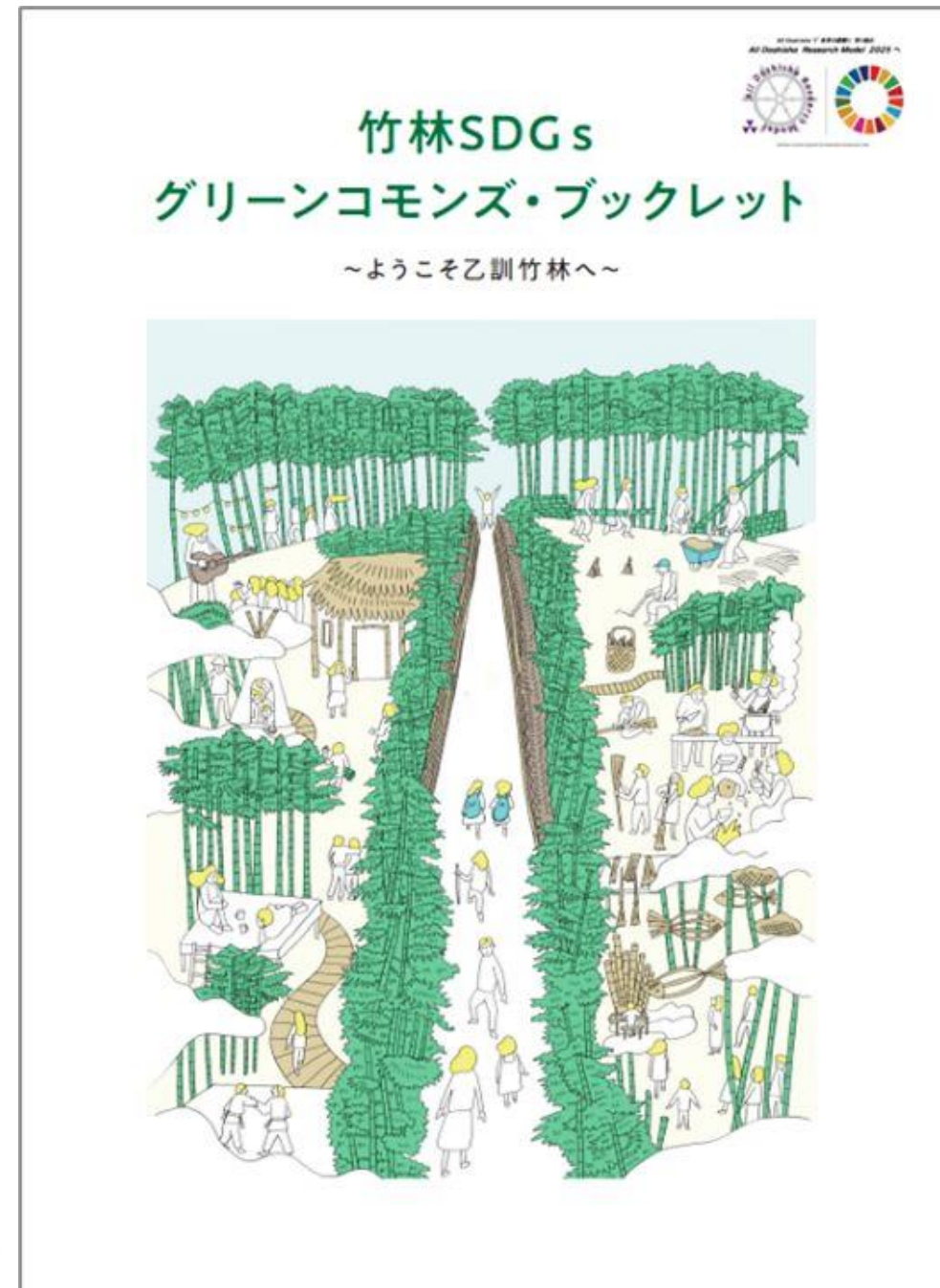
2023年3月21日(火・祝) 14:00~16:00
向日市観光交流センターまちてらすMUKOU

竹林をSDGs未来都市の枠組みで**環境・社会・経済**の3側面から捉えると共に、今後は向日市以外の乙訓エリアの竹林や文化面に調査を拡大していきたいと思います。また、世界農業遺産の枠組みで乙訓竹林を紐解いてみました。竹林と農業遺産の関わりについて、話をしていきたいと思います。

竹林SDGsブックレット、ダウンロードデータです

https://kikou.doshisha.ac.jp/.../sdgs_research_pj/news.html

近畿の世界農業遺産には、和歌山県「**みなべ・田辺の梅システム**」（2015年認定）、滋賀県「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす**琵琶湖システム**」（2022年認定）があります。同志社大学SDGs研究プロジェクトにて「竹林SDGsを通じたグリーン・ commonsの創造」に取り組みました。



【世界農業遺産に学ぶ、農林漁業の未来を育むヒント 大和田順子 教授】

ヤンマー営農支援情報誌『トンボクロス』6月号に、世界農業遺産を紹介する記事掲載の
(監修させていただきました)。

https://www.yanmar.com/media/news/2023/06/12045604/tomboCross06_all.pdf

農業遺産認定地域以外の地域向けに、そのポイントをまとめてみました。

- (1) 自分たちの地域の価値に気づくこと
- (2) 世界農業遺産に当てはめて考える
～地域の価値を見つけよう～
- (3) 地域の価値を可視化し、発信する

(1) 自分たちの地域の価値に気づくこと

- ・延喜式(927年完成)に朝廷へ「箸竹」を貢進する「乙訓園」が史料として古く登場する。
- ・乙訓竹林は京都近郊という立地によって、竹材利用もタケノコ栽培も、他の地には見られない
- ・高度に洗練された竹の文化を営んできた。
- ・竹のある風景は市域に残すべき歴史的風致(歴史的な人の営みと景観が一体となって形成された良好な市街地の環境)である。
- ・京都府文化的景観、歴史的風致に選定されている。

(2) 世界農業遺産に当てはめて考える ～地域の価値を見つけよう～

ネイチャーポジティブ(生物の多様性がもたらす恵や恩恵)

ランドスケープ(人と自然の相互作用によってもたらされた美しい景観)

地域固有の「社会組織」向日市竹産業振興協議会6団体による「竹の径」1.8km設置と管理

向日市まちづくり条例に基づき認定されたまちづくり協議会が13団体

「伝統文化」京銘竹 平成6年度(1994)に京都府伝統工芸品に指定された

京都式タケノコの軟化栽培(シンドメ・藁敷き・土入れ)

(3) 地域の価値を可視化し、発信する

地域の伝統的な「知識システム」SNS/HP/パンフレット/ツーリズム/ローカルフード

竹の径 国交省「手づくり郷土賞」かぐやの夕べ 大賞受賞

竹林とまちをつなぐ 竹プロダクトデザインWS

参加者募集

期間

2023.7月～2024.1月
時間 10:00～15:00

無料

第1回 7月1日(土) 第2回 7月22日(土)
第3回 8月19日(土) 第4回 9月2日(土)

お問合せ・お申込み
yabunosoba@gmail.com
藪の傍ノ小関・大塚

第1回 7月1日(土)

竹ってなんだ?
竹ははどうやって育つのか
生体、利用法・加工法など
フィールドワークを通して学ぶ

●10:00～藪の傍竹林に集合
自己紹介、ご挨拶
竹箸づくりワークショップ
竹林にて昼食
PM～洛西竹林公園へ移動
竹についてみんなで学ぼう
公園散策

【持ち物】

飲み物、昼食、
軍手、タオル、虫除け

第2回 7月22日(土)

1st_アイデア出し
●女性活躍センター「あすもあ」にて
グループワーク
アイデアのブラッシュアップ
模型をつくってみよう

第3回 8月19日(土)

2nd_アイデア出し
●女性活躍センター「あすもあ」
アイデアのブラッシュアップ
模型をつくってみよう
※状況に応じて竹で模型を作る
3案発表→講師陣よりフィードバック

第4回 9月2日(土)

3rd_アイデア出し・製作
●女性活躍センター「あすもあ」にて
竹を使って実際の作品を制作
最終プレゼン
展示に向けて作品を各自ブラッシュアップ

2024年1月中頃
京都市内にて
展示・発表予定

竹

竹

【講師プロフィール】



賀来 寿史
HISASHI KAKU

木工家。1999年より、木の工房KAKUとして活動開始。オーダー家具の制作を通じて身につけた木工の技術や知識をもって、**人と木、モノとコト、山とまちをつなぐ、伝える活動をしている。**京都芸術大学 非常勤講師、京都美術工芸大学 非常勤講師、中央工学校OSAKA非常勤講師



小山 裕介
KOYAMA YUSUKE

武蔵野美術大学(工芸工業デザイン学科インテリアデザインコース)卒業後、玩具メーカーにて商品企画・デザイン業務を経て、2007年に株式会社 良品計画へ入社。主に無印良品の家具や子供用品のディレクション・デザイン、商品企画を担当。2019年株式会社torinokoを白鳥裕之と立ち上げ、”**見つめて、見つける、モノづくり**”をテーマに**暮らしや行動からくる人に寄りそうモノづくり**を目指して活動しています。京都芸術大学 非常勤講師(2018年～)武蔵野美術大学 非常勤講師(2022年～)

ご清聴ありがとうございました

やぶのそば
藪の傍



〒617-0002 向日市寺戸町久々相13-2 事務所

〒617-0001 向日市物集女長野（物集女西浄水場裏）活動地

TEL 075-933-7733 FAX 075-934-2243

メール yabunosoba@gmail.com

SNS <http://facebook.com/yabunosoba/>

緊急連絡先 090-3160-8143 大塚 080-8731-9686 小関